

各位

上場会社名 杉田エース株式会社
 代表者 代表取締役社長 杉田 直良
 (コード番号 7635)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長兼経理部長 横井 雅彦
 (TEL 03-3633-5150)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,167	△124	△109	△125	△23.28
今回発表予想(B)	15,984	△206	△189	△66	△12.38
増減額(B-A)	△1,183	△82	△80	59	
増減率(%)	△6.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	16,890	△402	△377	△257	△47.88

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,200	114	152	120	22.35
今回発表予想(B)	36,000	30	70	150	27.94
増減額(B-A)	△1,200	△84	△82	30	
増減率(%)	△3.2	△73.7	△53.9	25.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	36,594	△86	△29	60	11.36

修正の理由

(平成23年3月期 第2四半期累計期間)

第2四半期累計期間の業績につきましては、長引く景気低迷により当社を取り巻く市場環境は厳しく推移し、加えて、物件の減少に伴い同業他社との価格競争が一段と激化しました。この影響により、ルート事業においては、住宅用資材の販売が減少し、売上が前年同期比5.3%減、計画比7.0%減と低調に推移しました。また、建材事業においては、住宅用資材及びビル用資材が大幅に減少し、売上が前年同期比7.2%減、計画比8.9%減と大きく落ち込むこととなり、全体で売上高が前回予想を下回る見込みであります。

利益面につきましては、経費削減に努めた結果、販売費及び一般管理費は前年同期より367百万円減少しましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の落ち込みをカバーするまでには至らず、営業損失及び経常損失が前回予想より悪化する見込みであります。なお、四半期純損失は、保険解約返戻金による特別利益(113百万円)の計上等がありましたので、前回の予想より若干好転する見込みであります。

(平成23年3月期 通期)

通期の業績予想につきましては、第3四半期会計期間以降、住宅着工戸数には回復の兆しが見られますものの、先行きの雇用・所得環境はさらに悪化する可能性が大きいものと懸念され、依然として厳しい経営環境は続き、売上高は低調に推移するものと予想されますので、上記のとおり修正をするものであります。なお、当第2四半期に計上しました保険解約返戻金による特別利益(113百万円)が、そのまま当期純利益に寄与しますので、前回の予想より好転する見込みであります。

※上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以上